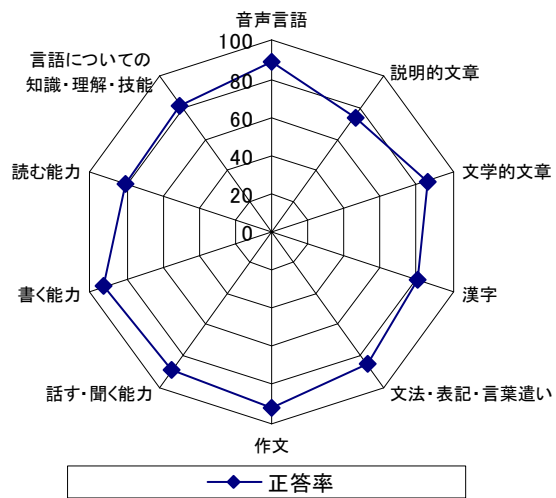


(5) 中学校第1学年結果分析

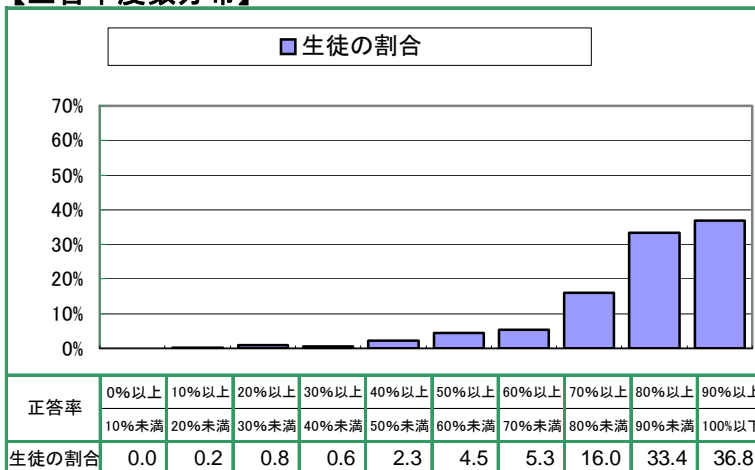
【中1国語】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	音声言語	88.1
	説明的文章	74.3
	文学的文章	85.6
	漢字	79.8
	文法・表記・言葉遣い	83.9
	作文	91.9
観点別	話す・聞く能力	88.1
	書く能力	91.9
	読む能力	79.9
	言語についての知識・理解・技能	81.1

受検人数	4,085人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「音声言語」「文学的文章」「文法・表記・言葉遣い」「作文」において正答率が80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」において正答率が80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が80%を超えている生徒の割合は70.2%となっている。
- ・ 正答率が50%未満の生徒の割合は3.9%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成								宇都宮市 正答率		
大問	中間	小問		観点				領域						
				話 す・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	識 言 語 に つ い て の 知	音 声 言 語	説 明 的 文 章	文 学 的 文 章	漢 字		文 法 ・ 表 記 ・ 言 葉 遣	作 文
1	(1)		話の趣旨の聞き取り	☆					○					90.8
	(2)		全体と部分の聞き分け	☆					○					96.5
	(3)		事実と意見の聞き分け	☆					○					89.6
	(4)		話し方の工夫の聞き取り	☆					○					75.5
2	(1)	①	小学校6年の漢字の読み				☆				○			79.8
		②	中学校1年の漢字の読み				☆				○			82.3
		③	中学校1年の漢字の読み				☆				○			76.6
	(2)	①	小学校6年の漢字の書き取り				☆				○			90.0
		②	中学校1年の漢字の書き取り				☆				○			95.0
		③	中学校1年の漢字の書き取り				☆				○			54.8
	(3)		文節の分け方				☆					○		85.1
	(4)		漢字の部首				☆					○		86.7
	(5)		故事成語の意味				☆					○		79.9
3	(1)		接続語		☆								○	94.4
	(2)		副詞の呼応		☆								○	89.1
4	(1)		文脈に即した内容の理解			☆			○					77.7
	(2)		文脈に即した内容の理解			☆			○					60.3
	(3)		接続語の補充			☆			○					91.2
	(4)		文脈に即した内容の理解			☆			○					84.3
	(5)		文章の要旨			☆			○					57.9
	(6)		意見の記述		☆								○	95.7
5	(1)		登場人物の動作の理由			☆				○				91.3
	(2)		語句の補充			☆				○				90.6
	(3)		登場人物の心情			☆				○				81.8
	(4)		登場人物の心情			☆				○				84.3
	(5)		登場人物の人物像			☆				○				79.9
	(6)		意見の記述		☆								○	88.5

◆設問別分析

・大問2(2)③「漢字(砂漠)の書き」：正答率54.8%

「砂漠」は日常頻繁に使わないためか、正しく書けた生徒は半数強である。「砂」は書けたが「漠」は書けなかった誤答が36.2%あり、無解答率は7.3%であった。漢字の定着を図るには、繰り返し練習させることが不可欠であり、小テストや家庭学習の時間を活用したい。

・大問4(2)「文脈に即した内容の理解」：正答率60.3%

説明的文章で「A級品」の問題点を指摘する問題だが、該当する内容は第3段落に書かれている。筆者が何を「A級品」と呼んでいるのか、また「A級品」の問題点は何なのか、本文の重要な箇所に線を引きながら筆者の論を丁寧に読み取っていくことが大切である。

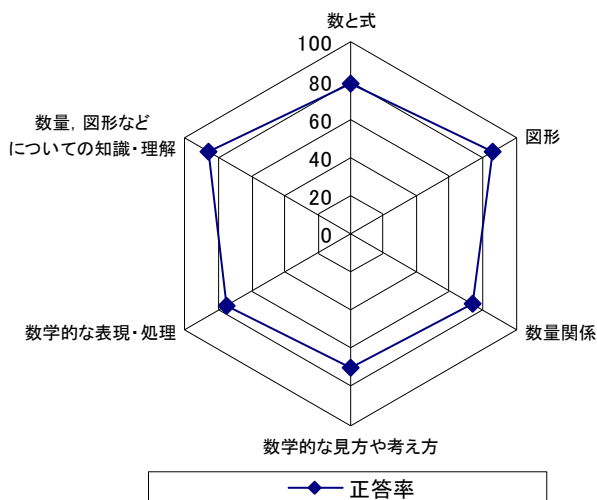
・大問4(5)「文章の要旨」：正答率57.9%

説明的文章で本文の内容に合うものを選ぶ問題だが、最終段落をよく読めば、正答に近づくことができるだろう。文章の要旨を押さえるには、文章を丁寧に読ませ、キーワードをもとに筆者の論をまとめさせる指導が有効である。

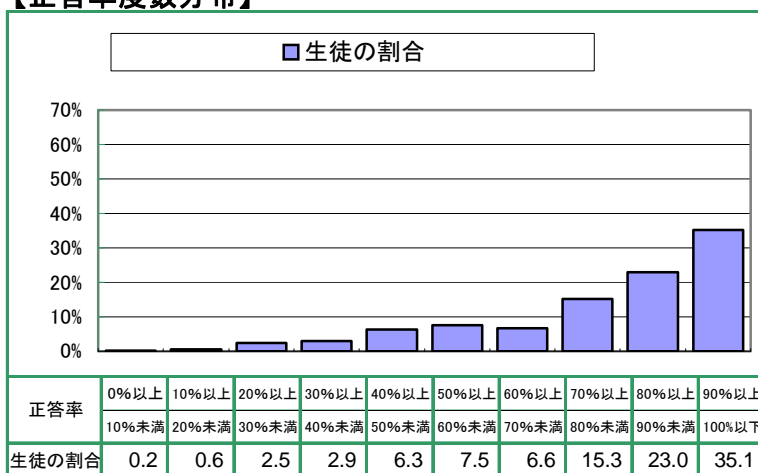
【中1数学】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	数と式	78.5
	図形	85.7
	数量関係	72.4
観点別	数学的な見方や考え方	70.2
	数学的な表現・処理	74.7
	数量、図形などについての知識・理解	85.4

受検人数	4,083人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「図形」において正答率が 80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「数量、図形などについての知識・理解」において正答率が 80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が 80%を超えている生徒の割合は 58.1%となっている。
- ・ 正答率が 50%未満の生徒の割合は 12.5%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成						宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域			
				方 学 的 な 見 方 や 考 え	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	数 量 の 知 識 ・ 理 解	数 と 式	図 形	数 量 関 係	
1	(1)		正の数, 負の数の計算	☆			○			96.6
	(2)			☆			○			73.9
2	(1)		文字式の計算	☆			○			68.7
	(2)			☆			○			87.9
3	(1)		文字式の値 数量を表す文字式	☆			○			54.0
	(2)			☆			○			76.1
4	(1)		数直線上の点(正の数) 数の大小			☆	○			90.0
	(2)					☆	○			86.1
5	(1)		文字式の表し方			☆	○			84.7
	(2)					☆	○			76.1
6	(1)		方程式 比例式		☆		○			86.8
	(2)				☆		○			87.7
	(3)				☆		○			82.1
7	(1)		方程式の利用 不等式	☆			○			68.9
	(2)			☆			○			62.7
	(3)			☆			○			73.8
8	(1)		垂直の表し方 点対称の図形の対応する点 線対称 点対称			☆	○			81.5
	(2)					☆	○			83.4
	(3)	ア イ				☆	○			88.6 89.5
9	(1)		点の座標 比例の関係 比例のグラフの比例定数 反比例の表 反比例のグラフ 比例のグラフ			☆		○		95.0
	(2)					☆		○		79.7
	(3)				☆			○		57.1
	(4)				☆			○		73.2
	(5)				☆			○		63.3
	(6)				☆			○		63.5
10			比例の利用	☆				○		75.4

◆設問別分析

・大問3 (1)「文字式の値」: 正答率 54.0%

$x = -2$ を代入して $10 - 5x$ の値を求める問題だが、 $-5x$ を $-5 - 2$ と加法にしてしまった誤答が 15.7%、 $(-5) \times (-2) = -10$ としてしまった誤答が 20.7% あった。計算間違いをなくすためにも、途中式を書く習慣をつけることが大切である。また、 $-5x$ は $(-5) \times x$ の意味であることを確認しておく必要がある。

・大問7 (2)「方程式の利用」: 正答率 62.7%

問題場面に合った方程式をつくる問題である。問題文の中の数量に着目して、数量の関係を見つけ、言葉の式に表してから文字式に表すように指導する必要がある。本問の場合は、求める子どもの人数を x と置き、あめの2通りの分け方をそれぞれ左辺と右辺に表せばよいことに気づかせたい。

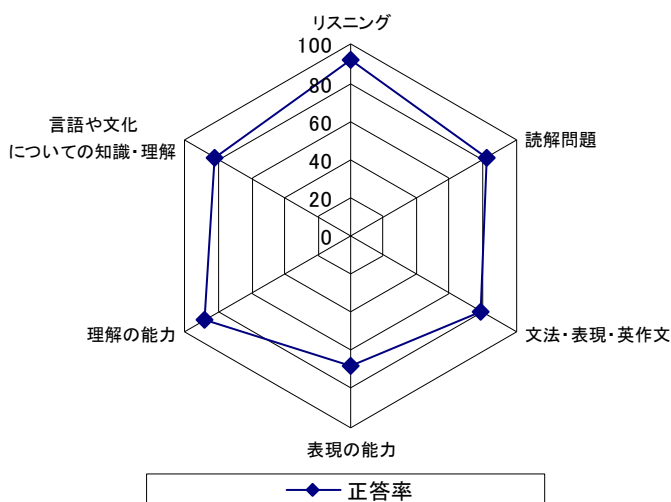
・大問9 (3)「比例のグラフの比例定数」: 正答率 57.1%

比例の式が $y = ax$ で表せることを確認し、比例定数 a を求めるには、グラフ上の1組の x と y の値を代入すればよいことを理解させる必要がある。基本的な問題であるにも関わらず、無解答率が 14.2% と高いことから、座標やグラフの式の意味をきちんと確認しておきたい。

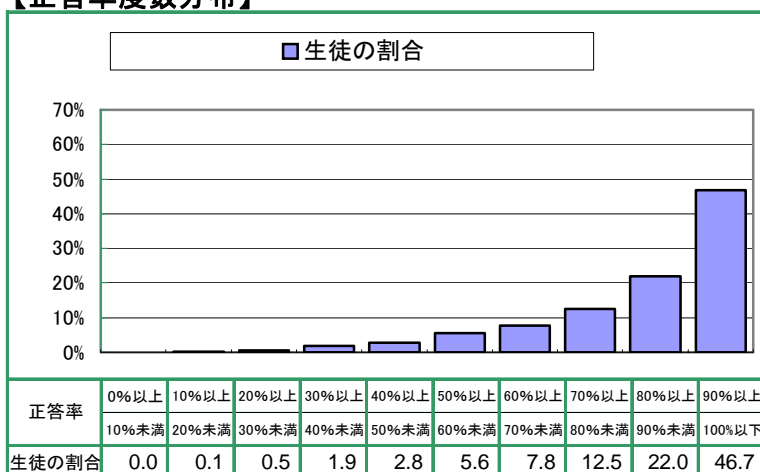
【中1英語】 (％)

		宇都宮市 正答率
領域別	リスニング	91.5
	読解問題	80.8
	文法・表現・英作文	77.8
観点別	表現の能力	68.0
	理解の能力	87.7
	言語や文化についての知識・理解	81.5

受検人数	4,084人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「リスニング」「読解問題」において正答率が 80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」において正答率が 80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が 80%を超えている生徒の割合は 68.7%となっている。
- ・ 正答率が 50%未満の生徒の割合は 5.3%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成					宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域		
				表現の能力	理解の能力	の言語や文化について	リスニング	読解問題	
1	(1)		対話のリスニング	☆			○		73.8
	(2)			☆			○		96.8
	(3)			☆			○		90.0
	(4)			☆			○		98.4
2	(1)		対話のリスニング	☆			○		93.5
	(2)			☆			○		96.3
	(3)			☆			○		83.3
3	(1)		対話のリスニング	☆			○		92.3
	(2)			☆			○		95.2
	(3)			☆			○		91.6
	(4)			☆			○		96.0
4	(1)		表現の知識理解		☆			○	94.0
	(2)				☆			○	80.1
	(3)				☆			○	92.6
	(4)				☆			○	66.1
5	(1)		並べ替え英作文		☆			○	84.8
	(2)				☆			○	87.0
	(3)				☆			○	71.9
	(4)				☆			○	75.5
6	(1)		和文英訳	☆				○	71.6
	(2)			☆				○	60.4
	(3)			☆				○	72.1
7	(1)		対話文の空所選択		☆			○	64.6
	(2)				☆			○	86.1
8	(1)	①	対話文の内容把握	☆				○	78.2
		②		☆				○	87.7
	(2)	①		☆				○	82.3
		②		☆				○	86.0

◆設問別分析

・大問1 (1)「対話のリスニング」：正答率 73.8%

英文を聞いて対話に合うイラストを選ぶ問題だが、前置詞 on を聞き取れるかどうかポイントである。in、on などの前置詞については、その概念をきちんと押さえておきたい。

・大問4 (4)「表現の知識理解」：正答率 66.1%

My mother に続く単語を選ぶ問題だが、正答が doesn't であるのに対して、don't を選んだ誤答が 25.3%あった。主語に応じた do と does の使い分けについて、再度復習しておきたい。

・大問6 (2)「和文英訳」：正答率 60.4%

場面の状況に合うように () 内に適切な語を入れる問題である。相手を誘う Let's～.は、非常によく使われる表現であり、形式的にはなく、使用場面と結びつけて指導することが必要である。

・大問7 (1)「対話文の空所選択」：正答率 64.6%

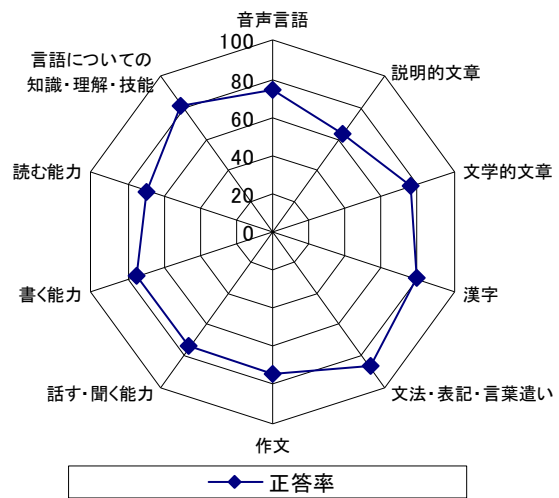
() 内に適切な 1 文を入れて対話を完成させる問題である。各選択肢の接続詞に注意しながら、前後の文のつながり確かめさせることが大切である。

(6) 中学校第2学年結果分析

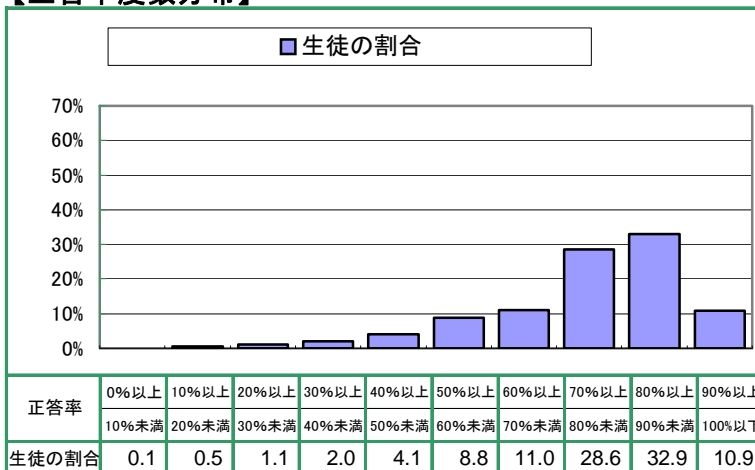
【中2国語】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	音声言語	73.7
	説明的文章	62.1
	文学的文章	76.1
	漢字	79.0
	文法・表記・言葉遣い	87.0
	作文	73.5
観点別	話す・聞く能力	73.7
	書く能力	73.5
	読む能力	69.1
	言語についての知識・理解・技能	81.6

受検人数	3,932人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「文法・表記・言葉遣い」において正答率が80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「言語についての知識・理解・技能」において正答率が80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が80%を超えている生徒の割合は43.8%となっている。
- ・ 正答率が50%未満の生徒の割合は7.8%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成								宇都宮市 正答率		
大問	中間	小問		観点				領域						
				話す・聞く能力	書く能力	読む能力	識言語について の知	音声言語	説明的文章	文学的文章	漢字		い文法・表記・言葉遣	作文
1	(1)		話の趣旨の聞き取り	☆					○					81.0
	(2)		中心の部分と付加の部分の聞き分け	☆					○					89.5
	(3)		事実と意見の聞き分け	☆					○					64.9
	(4)		インタビューの工夫の聞き取り	☆					○					59.2
2	(1)	①	中学校1年の漢字の読み				☆				○			93.5
		②					☆			○			89.3	
		③					☆			○			97.9	
	(2)	①	中学校1年の漢字の書き取り				☆				○			37.0
		②					☆			○			90.7	
		③					☆			○			65.7	
	(3)		活用の種類				☆				○			83.4
	(4)		熟語の組み立て				☆				○			86.7
	(5)		類義語				☆				○			90.8
3	(1)		故事成語の活用		☆								○	24.1
	(2)		副詞の呼応		☆								○	94.9
4	(1)		文脈に即した内容の理解			☆			○					22.2
	(2)					☆			○				74.9	
	(3)		接続語の補充			☆			○				79.8	
	(4)		文脈に即した内容の理解			☆			○				75.1	
	(5)		文章の構成や展開			☆			○				58.5	
	(6)		意見の記述		☆							○		90.5
5	(1)		登場人物の動作の理由			☆				○				76.1
	(2)		登場人物の心情			☆				○				60.0
	(3)		登場人物の動作の理由			☆				○				73.5
	(4)		登場人物の心情			☆				○				88.9
	(5)		登場人物の様子			☆				○				82.0
	(6)		意見の記述		☆							○		84.5

◆設問別分析

・大問2(2)①「漢字(普及)の書き」: 正答率 37.0%

「普及」は日常耳にする言葉だが、約3割の生徒が無解答であった。誤答を見ると、「普」「及」のいずれかが書けた生徒は相対的に少なく、いずれの字も書けなかった生徒が18.7%と多かった。

・大問3(1)「故事成語の活用」: 正答率 24.1%

「推敲」という故事成語を使って短文を作る問題だが、無解答率が42.5%と高かった。故事成語については、その意味を押さえた上で、文章の中で活用できるように指導することが大切である。

・大問4(1)「文脈に即した内容の理解」: 正答率 22.2%

説明的文章で傍線部の具体的な内容を問う問題である。本文中に「雑木林」「照葉樹林」「下草」などの言葉が出てくるが、それらを整理して、文脈を理解する力が求められる。それぞれの言葉が意味する内容を、きちんと整理させる指導を行いたい。

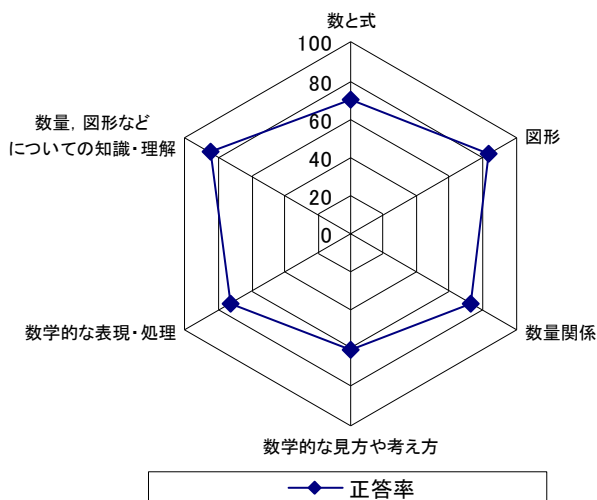
・大問4(5)「文章の構成や展開」: 正答率 58.5%

説明的文章で本文を「導入」「本論」「まとめ」の3つに分けた時の構成を問う問題である。筆者の論の進め方を押さえるには、筆者の考え方が述べられているところやキーワードに着目して読ませることが必要である。

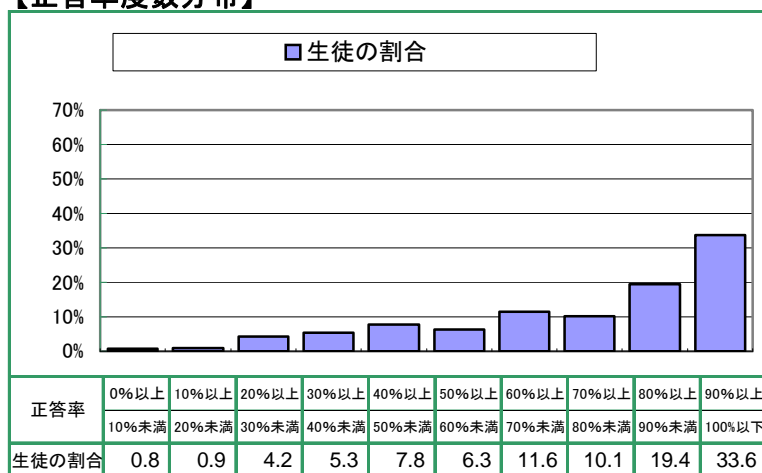
【中2数学】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	数と式	70.1
	図形	82.9
	数量関係	71.4
観点別	数学的な見方や考え方	60.1
	数学的な表現・処理	72.0
	数量, 図形などについての知識・理解	84.2

受検人数	3,799人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「図形」において正答率が80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「数量, 図形などについての知識・理解」において正答率が80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が80%を超えている生徒の割合は53.0%となっている。
- ・ 正答率が50%未満の生徒の割合は19.0%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成						宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域			
				方 学 的 な 見 方 や 考 え	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	数 量 的 な 知 識 ・ 理 解	数 と 式	図 形	数 量 関 係	
1	(1)		同類項の整理		☆		○			69.0
	(2)		単項式の乗法		☆		○			81.1
	(3)		多項式の計算		☆		○			78.2
2	(1)		文字式の値		☆		○			70.5
	(2)		2元1次方程式の解		☆		○			73.4
3	(1)		連立方程式			☆	○			90.5
	(2)				☆		○			67.5
4	(1)		等式の変形		☆		○			82.4
	(2)		比の性質		☆		○			59.5
	(3)		文字式の利用	☆			○			43.0
5	(1)		連立方程式の利用	☆			○			67.3
	(2)			☆			○			58.2
6	(1)		平行線と角の性質			☆		○		95.5
	(2)		四角形の内角の性質			☆		○		89.4
	(3)		多角形の内角の和			☆		○		87.0
7			直角三角形の合同			☆		○		77.8
8	ア		三角形の合同の証明		☆			○		87.9
	イ				☆			○		59.6
9	(1)		1次関数の式			☆			○	69.7
	(2)		切片と傾きから求める直線の式		☆				○	77.0
	(3)		2点を通る直線の式		☆				○	66.6
	(4)		1次関数のグラフと直線の式		☆				○	73.7
10	(1)		1次関数の利用			☆			○	79.3
	(2)				☆				○	61.9
	(3)			☆					○	71.9

◆設問別分析

・大問4(2)「比の性質」：正答率 59.5%

内項と外項の積が等しくなることから、 x の値を求めればよいのだが、正しく答えられていない生徒が多い。暗算で求めようとするのではなく、きちんと式を書く習慣をつけることが大切である。

・大問4(3)「文字式の利用」：正答率 43.0%

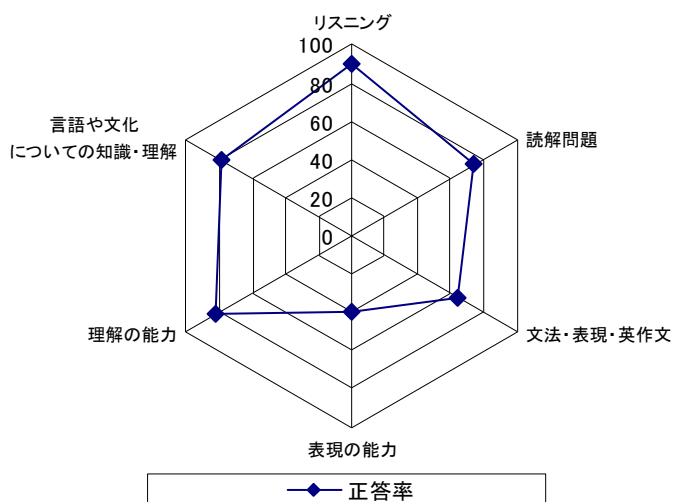
文字式を使って3つの連続する整数の和について説明する問題だが、3の倍数がどういう式で表されるのかを理解していないと考えられる。文字を使った表現の仕方や文字式のよみとり方など、文字を認識する力を養うことが求められる。

・大問8イ「三角形の合同の証明」：正答率 59.6%

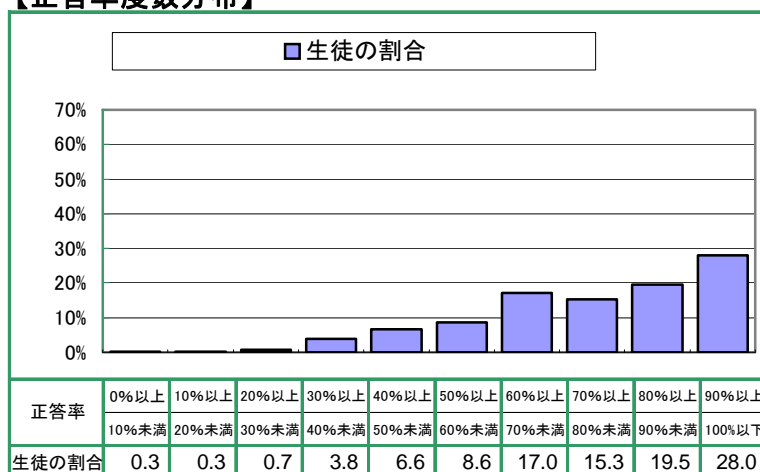
証明の中で使われた三角形の合同条件を選ぶ問題である。同問のアで87.9%の生徒が等しい角を正しく答えられているにも関わらず、合同条件を選ぶ問題では正答率が30ポイント近く下がっている。証明に使われた条件を図の中にかき込ませ、証明と図を関連づけながら考えさせることが大切である。

【中2英語】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	リスニング	89.3
	読解問題	73.9
	文法・表現・英作文	64.0
観点別	表現の能力	39.3
	理解の能力	80.9
	言語や文化についての知識・理解	78.1
受検人数		3,931人



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「リスニング」において正答率が 80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「理解の能力」において正答率が 80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が 80%を超えている生徒の割合は 47.5%となっている。
- ・ 正答率が 50%未満の生徒の割合は 11.7%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成					宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域		
				表現の能力	理解の能力	の言語や文化について	リスニング	読解問題	
1	(1)		対話のリスニング		☆		○		96.0
	(2)				☆		○		95.3
	(3)				☆		○		97.6
2	(1)		対話のリスニング		☆		○		95.3
	(2)				☆		○		80.4
	(3)				☆		○		95.9
	(4)				☆		○		90.5
3	(1)		対話のリスニング		☆		○		83.0
	(2)				☆		○		88.6
	(3)				☆		○		70.1
4	(1)		表現の知識理解			☆		○	81.5
	(2)					☆		○	74.5
	(3)					☆		○	81.8
	(4)					☆		○	78.8
5	(1)		並べ替え英作文			☆		○	86.3
	(2)					☆		○	86.8
	(3)					☆		○	57.1
6	(1)		対話文の空所補充	☆				○	56.7
	(2)			☆				○	52.3
7	(1)		英作文	☆				○	19.7
	(2)			☆				○	28.7
8	(1)		対話文の空所選択		☆		○		89.6
	(2)				☆		○		71.4
	(3)				☆		○		66.4
	(4)				☆		○		72.0
9	(1)	①	対話文の内容把握		☆		○		79.4
		②			☆		○		67.5
	(2)	①			☆		○		87.3
		②			☆		○		77.7
10	(1)	①	長文の内容把握		☆		○		60.9
		②			☆		○		68.2
	(2)	①			☆		○		75.1
		②			☆		○		71.7

◆設問別分析

・大問5 (3)「並べ替え英作文」：正答率 57.1%

目的語が2つある文型 (show+O+O) の語順を問う問題だが、目的語の「人」と「物」の語順を逆にしてしまった誤答が 31.0%あった。

・大問7 (1)「英作文」：正答率 19.7%

「○○に来てください。」という表現を英語で書く問題だが、Please から始まる命令文が十分に定着していないと考えられる。無解答率は 34.7%であった。

・大問10 (1) ①「長文の内容把握」：正答率 60.9%

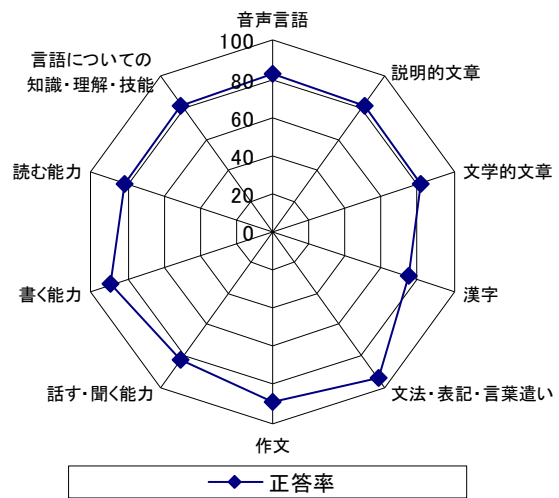
長文の内容についての質問に答える問題である。「いつ」という問いに対して、本文中の「期間」を表す表現をもとに解答してしまった誤答が 21.6%あった。基本的な文法・語彙の知識を習得させるとともに、文章をじっくりと読ませ、時間や場所などの流れを把握できる力を身につけさせたい。

(7) 中学校第3学年結果分析

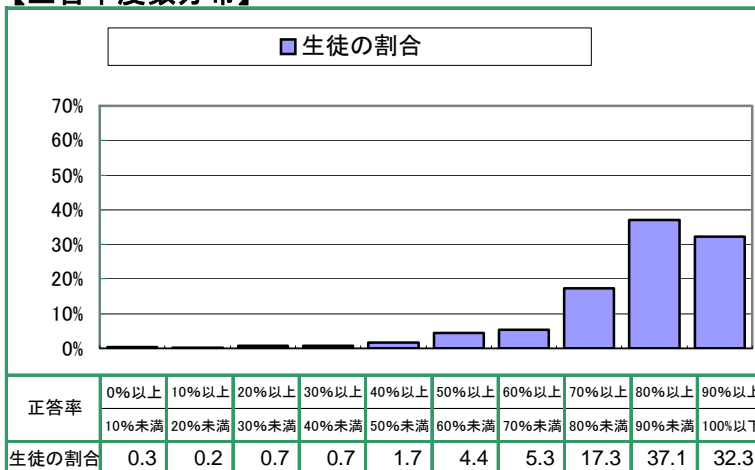
【中3国語】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	音声言語	82.0
	説明的文章	81.2
	文学的文章	81.0
	漢字	75.5
	文法・表記・言葉遣い	94.0
	作文	88.8
観点別	話す・聞く能力	82.0
	書く能力	88.8
	読む能力	81.1
	言語についての知識・理解・技能	81.7

受検人数	4,094人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「音声言語」「説明的文章」「文学的文章」「文法・表記・言葉遣い」「作文」において正答率が80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、すべての観点において正答率が80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が80%を超えている生徒の割合は69.4%となっている。
- ・ 正答率が50%未満の生徒の割合は3.6%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成								宇都宮市 正答率		
大問	中間	小問		観点				領域						
				話 す・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	識 言 語 に つ い て の 知	音 声 言 語	説 明 的 文 章	文 学 的 文 章	漢 字		文 法 ・ 表 記 ・ 言 葉 遣	作 文
1	(1)		話の趣旨の聞き取り	☆					○					88.5
	(2)		話し方の工夫	☆					○					79.5
	(3)		司会者の役割	☆					○					92.0
	(4)		話の展開の聞き取り	☆					○					67.9
2	(1)	①	中学校2年の漢字の読み				☆				○			98.9
		②					☆			○			99.1	
		③		中学校3年の漢字の読み				☆			○		63.7	
	(2)	①	中学校2年の漢字の書き取り				☆				○			69.9
		②					☆			○			79.0	
		③		中学校3年の漢字の書き取り				☆			○		42.1	
	(3)		助動詞の識別				☆				○		85.5	
	(4)		同音異義語の識別				☆				○		98.2	
	(5)		敬語の使い方				☆				○		98.4	
3	(1)		慣用句の活用		☆							○	88.4	
	(2)		副詞の呼応		☆							○	89.8	
4	(1)		語句が指示する内容			☆			○					78.9
	(2)		接続語の補充			☆			○					93.4
	(3)		語句が指示する内容			☆			○					82.2
	(4)		語句が指示する内容			☆			○					93.6
	(5)		文章の主題			☆			○					58.0
	(6)		意見の記述		☆							○		85.8
5	(1)		語句の補充			☆				○				78.4
	(2)					☆				○				82.4
	(3)		登場人物の心情			☆				○				76.1
	(4)					☆				○				90.4
	(5)		文章の主題			☆				○				77.6
	(6)		意見の記述		☆							○		91.3

◆設問別分析

・大問1 (4)「話の展開の聞き取り」：正答率 67.9%

話し合いの中で出された質問に対する答えを選ぶ問題である。日頃からこまめに話し合いの場を設け、友だちに質問したり、自分の意見を発表したりする経験を積ませることが大切である。

・大問2 (2) ③「漢字（根拠）の書き」：正答率 42.1%

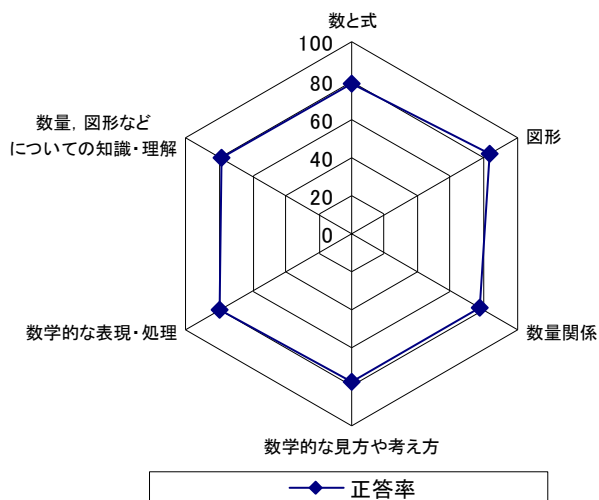
誤答は、「根」は書けたが「拠」が書けなかったものが 35.5%と多く、無解答率は 19.0%であった。本問のような定着しにくい漢字については、意識して繰り返し練習させる必要がある。

・大問4 (5)「文章の主題」：正答率 58.0%

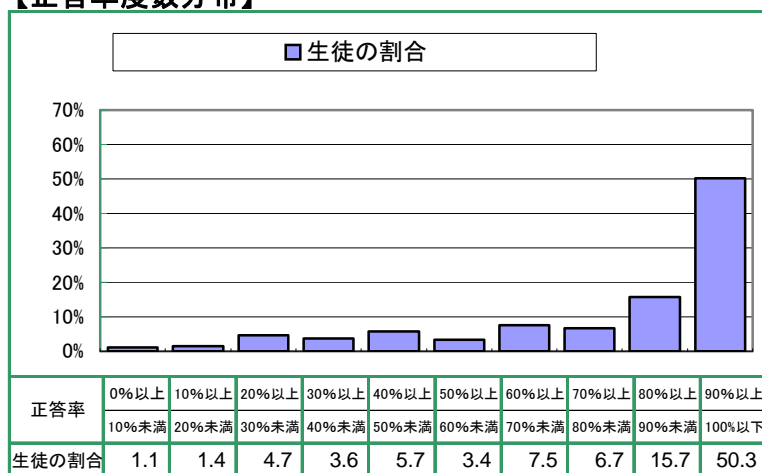
説明的文章で文章の主題（筆者の主張）を答える問題である。筆者の主張は文章のまとめに書かれていることが多いが、それだけで判断せず、筆者の言いたいことを大きくとらえさせることが大切である。筆者の主張が表れた箇所に線を引きながら読ませるのも、一つの方法である。

【中3数学】 (％)

		宇都宮市 正答率
領域別	数と式	78.2
	図形	83.4
	数量関係	77.2
観点別	数学的な見方や考え方	76.8
	数学的な表現・処理	79.4
	数量, 図形などについての知識・理解	78.2
受検人数		4,092人



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「図形」において正答率が 80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、すべての観点において正答率が 80%を下回る結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が 80%を超えている生徒の割合は 66.0%となっている。
- ・ 正答率が 50%未満の生徒の割合は 16.5%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成					宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域		
				方 数 学 的 な 見 方 や 考 え	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	数 量 的 な 知 識 ・ 図 形 な ど に つ	数 と 式	図 形	
1	(1)		単項式と多項式の乗法	☆			○		73.3
	(2)		平方根の乗法	☆			○		62.7
	(3)		平方根の加減	☆			○		69.0
2	(1)		式の展開	☆			○		90.8
	(2)			☆			○		89.0
3	(1)		因数分解	☆			○		87.8
	(2)			☆			○		90.0
4	(1)		素因数分解			☆	○		88.6
	(2)		平方根が整数となる値			☆	○		77.3
	(3)		平方根の大小			☆	○		75.4
	(4)		平方根の変形	☆			○		80.9
5	(1)		2次方程式	☆			○		76.8
	(2)			☆			○		57.5
6	(1)		2次方程式の利用	☆			○		82.6
	(2)			☆			○		71.0
7			三角形の相似比			☆	○		79.5
8	ア		三角形の相似の証明	☆			○		91.7
	イ		三角形の相似条件	☆			○		79.4
9			平行線と線分の比	☆			○		83.0
10	(1)		2乗に比例する関数の比例定数	☆				○	80.0
	(2)		2乗に比例する関数の式	☆				○	80.4
	(3)		2乗に比例する関数のグラフ	☆				○	77.7
	(4)		2乗に比例する関数の変域			☆		○	71.8
	(5)		2乗に比例する関数の変化の割合			☆		○	76.6
11			2乗に比例する関数の利用	☆				○	76.7

◆設問別分析

・大問1 (2)「平方根の乗法」: 正答率 62.7%

平方根の乗法を解くにあたっては、まず平方根の意味をきちんと理解させることが大切である。その上で、根号の中を素因数分解し、整理することを指導したい。

・大問5 (2)「2次方程式」: 正答率 57.5%

2次方程式を解く問題だが、平方根の考え方をを使って解いた場合の計算ミスが多かったと考えられる。0を除く平方根の解は、正と負の2つがあることを確認しておく必要がある。

・大問6 (2)「2次方程式の利用」: 正答率 71.0%

2次方程式を使って道の幅を求める問題だが、道を土地の端に寄せて、花だんの面積を求める式を立てることがポイントである。問題演習を通して、様々な2次方程式の活用問題に触れさせることが大切である。

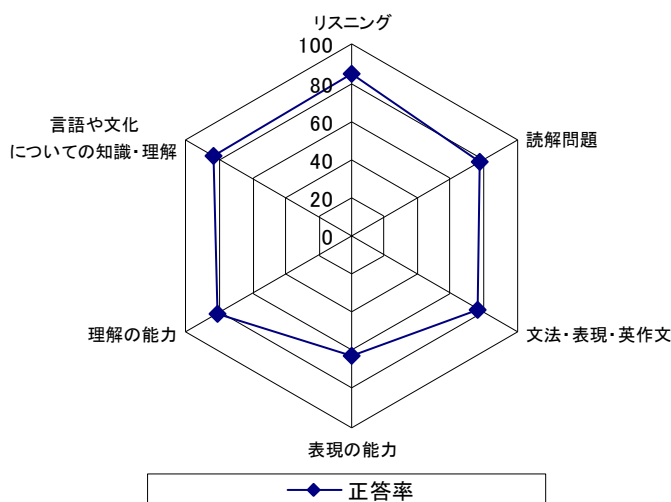
・大問10 (4)「2乗に比例する関数の変域」: 正答率 71.8%

2乗に比例する関数の変域を答える問題だが、 x の最小値・最大値をそのまま $y=2x^2$ に代入している誤答が14.3%あった。変域を求める場合には、必ずグラフをかいて考える習慣をつけることが大切である。

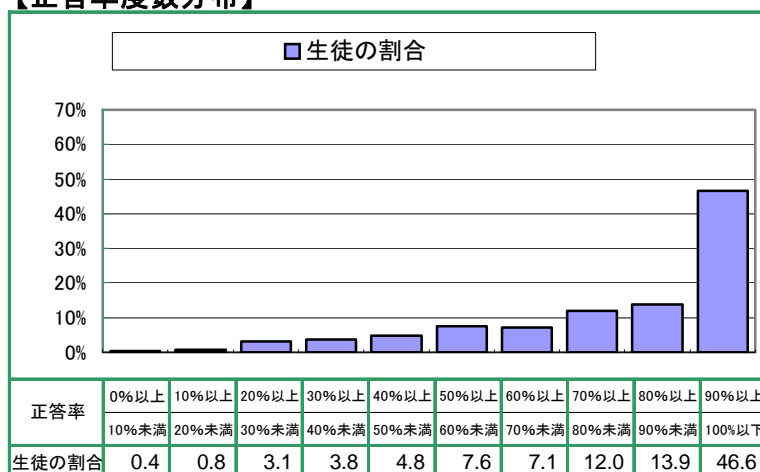
【中3英語】 (%)

		宇都宮市 正答率
領域別	リスニング	84.3
	読解問題	77.3
	文法・表現・英作文	76.1
観点別	表現の能力	62.5
	理解の能力	80.5
	言語や文化についての知識・理解	82.9

受検人数	4,095人
------	--------



【正答率度数分布】



◆領域別・観点別分析

- ・ 領域別に見ると、「リスニング」において正答率が 80%を超える結果となっている。
- ・ 観点別に見ると、「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」において正答率が 80%を超える結果となっている。

◆度数分布から見る全体傾向

- ・ 正答率が 80%を超えている生徒の割合は 60.5%となっている。
- ・ 正答率が 50%未満の生徒の割合は 12.9%となっている。

問題番号			出題内容	問題構成					宇都宮市 正答率
大問	中間	小問		観点			領域		
				表現の能力	理解の能力	の言語や知識・文化について	リスニング	読解問題	
1	(1)		対話のリスニング	☆			○		98.0
	(2)			☆			○		92.7
	(3)			☆			○		75.7
2	(1)		対話のリスニング	☆			○		77.9
	(2)			☆			○		87.0
	(3)			☆			○		86.8
3	(1)		対話のリスニング	☆			○		94.3
	(2)			☆			○		86.7
	(3)			☆			○		76.3
	(4)			☆			○		67.5
4	(1)		表現の知識理解			☆		○	88.8
	(2)					☆		○	79.9
	(3)					☆		○	81.7
	(4)					☆		○	83.7
5	(1)		並べ替え英作文			☆		○	89.1
	(2)					☆		○	85.0
	(3)					☆		○	74.4
	(4)					☆		○	80.5
6	(1)		対話文の空所補充	☆				○	52.7
	(2)			☆				○	60.9
7	(1)		英作文	☆				○	76.6
	(2)			☆				○	59.7
8	(1)		対話文の空所選択		☆			○	62.1
	(2)				☆			○	80.8
	(3)				☆			○	68.8
	(4)				☆			○	70.8
9	(1)		対話文の内容把握	☆				○	90.1
	(2)			☆				○	86.1
	(3)	①		☆				○	84.6
		②		☆				○	90.2
10	(1)	①	Eメールの内容把握	☆				○	76.5
		②		☆				○	75.5
		③		☆				○	78.4
	(2)	☆					○	64.1	

◆設問別分析

・大問6 (1)「対話文の空所補充」：正答率 52.7%

自分自身の英語の学習期間について英語で答える問題である。基本的な現在完了の表現であるにも関わらず、正答率が低く、無解答率は 15.4%であった。

・大問7 (2)「英作文」：正答率 59.7%

夏と冬のいずれか好きな季節を選び、続けてさらに説明する一文を書く問題である。無解答率は、19.9%であった。書く力を育てるには、日頃から授業の中に、書く活動を位置づけることが大切である。

・大問8 (1)「対話文の空所選択」：正答率 62.1%

対話文の空所選択の問題では、答えの文から質問文を推測できることが大切である。答えの文において、何が答えの中心となっているのかを押さえることを指導したい。